

ドイツの言語と文化 第11回 文化パート6：学生発表第1回

範囲：教科書第八章、第九章（S. 116 - 140）

今回から4回の授業は学生発表の予定になっており、事前に決めた分担の通り、教科書の内容説明は受講者にやってもらう。一部の事項に関してのみ、講師から補足しておく。

第八章 シュトレゼマン時代（S. 116 - 128）

ロカルノ条約（S. 124）

S. 125

- ・「ブリアンもこの後長くフランス外相の地位を保持してヨーロッパ外交の「ブリアン・シュトレゼマン時代」を築くのである」
- …アリスティード・ブリアン（Aristide Briand）は、アメリカ国務長官のフランク・ケロッグとともに、戦争放棄を定めたいわゆる**パリ不戦条約**（ケロッグ・ブリアン協定、1928年）を主導した人物。不戦条約は日本国憲法第9条に影響を与えたとされる。

ゼークトの失脚（S. 126）

ドイツ軍部の役職の変遷

ドイツ帝国陸軍 (Deutsches Heer)	ヴァイマル共和国軍 (Reichswehr) ヴァイマル共和国陸軍 (Reichsheer)	備考
	陸軍総司令官 (Chef der Heeresleitung)	新設
参謀本部 (Generalstab) 参謀総長 (Generalstabschef)	兵務局 (Truppenamt) 兵務局長 (Chef des Truppenamts)	ヴェルサイユ条約で参謀本部を禁止されたため、偽装的に新設。

* ヴァイマル共和国軍の場合、国防省 (Reichswehrministerium) の国防大臣に監督を受ける。国防大臣は内閣の一員で、基本的に政治家が就任する。

- ・ヒンデンブルクは、参謀総長→（退役）→大統領
- ・ルーデンドルフは、参謀次長→（退役、亡命）→政治活動家
- ・グレーナーは、参謀次長→参謀総長→（退役）→政治家→国防大臣
- ・ゼークトは、参謀総長→兵務局長→陸軍総司令官→（退役）

第九章 経済復興と社会主義（S. 129 - S. 140）

経済復興とその弱点 (S. 129)

S. 130

・「マルクス内閣が授権法によって発布した労働時間法令は」
…**授権法**（Ermächtigungsgesetz）は、政府に立法権（本来は議会が持っている）を委ねる法律。一般的には1933年にNSDAP政権が制定したもの（**全権委任法**とも呼ばれる）が著名だが、それ以前のヴァイマル時代にも何度か制定されている。ただし、1933年のものと異なり、いずれも限定的なものであった（基本的人権を侵害できない、議会の事後承諾がないと失効する、時限立法である、など）。

ラートブルフの批判 (S. 134)

S. 134

・「当時の代表的な法学者で社会民主党に属し、司法大臣をもつとめたラートブルフ」
…グスタフ・ラートブルフ（Gustav Radbruch）は刑法学者、法哲学者。日本語でも著作集が刊行されている（『ラートブルフ著作集』東京大学出版会、1960年～1964年、全11巻）。

連絡先など

講師のメールアドレス：tokan@nifty.com 講師のウェブサイト：<http://hhasegawa.la.coocan.jp/>

授業のサイト（配付資料あり）：<http://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/2018/2018sitDeutscheSpracheundKultur.html>